

ひまひま データ

数字で遊ぶ
ボートレース

オフライン

モーターと選手が織りなす奇跡の記録をまとめてみました

7月27日現在、宮島の28号機は枝尾賢↓三浦永理↓島田賢人選手で3節連続優勝中。96年7月以降、およそ28年間で「同一モーター」3節連続以上の優勝は39件目。年平均1.4件ですが、直近1年間では5件も発生しています。

前回優勝機を引いた選手は好調機を引いたということでは優勝候補の1人に挙げられることもあると思います。でも実際に優勝しているのでしょうか。今回は、モーターの前回成績別の優勝率なども調べてみたいと思います。

●前回の優出機・優勝機は次走も優出・優勝できるのか

まずは、前回優出機は次走も活躍しているのか？です。男女W優勝のように優勝者2名出る開催や途中追加の選手が乗ったモーターなども考慮しなくてははいけないのですが、今回はとにかく単純にモーターの前回の結果を使用して作りました。集計対象は合計90万節です(表1・グラフ1)。

1節で45人出場して優勝者は1人。モーターにとっては平均して優勝率は2・22%くらい。単純な集計ではあったのですが、なんと前回優勝機は他と比べて優勝率が高かったのです。前回優勝機の優勝率は3・46%！平均にくらべて1・56倍、すなわち前回優勝機は5〜6割増しで優勝しているのです。私にとっては予想外でした。

モーターにとっては、選手に引かれる、抽選運もあるでしょうし、選手自身も連続優勝はそう簡単ではな

いことですが。「前回優勝機を引いた」と言っても優勝は結果であり、本当のモーターの素性もわからないし、乗り手が変わったら次の節はほぼ別物と私は思い込んでいました。

そして前回優出2着も優勝率は3・03%。優勝機には及ばないまでも優勝戦2着に入るほどのモーターは次も好調だということなのでしょう。前回優出2着機も次走注目されて当然ということですね。

優出3着以下を平均すると優勝率は2・61%でした。それでも平均から1・18倍程度、優勝率は高いようです。

優出率では、1節でおおよそ45人が出場し6人が優出するので平均の優出率は13・4%。前回優勝機の優出率は高めで17・2%、前回優出2着も16・2%ありました。やはり能力は高いようです。

もしかすると、年ごとに変化があるかもと年別の前回優勝機の優勝率を調べてみました(グラフ2)。

年ごとの変化は意外と大きく、02年が2・35%で最小、17年は4・99%で最高でした。02年の2・35%は平均値2・22%とほぼ同じ。前回優勝機だからと言って他のモーターと何ら変わらないという状況…？私はこの頃の印象が強かったようです(笑)。

17年にはほぼ5%というところまで上昇。この頃、特定のモーターが8連続以上優出したり、3連続優勝も多く出たりしました。それもその後はバブル崩壊的に鎮まり、19年には3・21%、22年は2・97%に下が

ったりしましたが、全体としては上昇傾向です。

●3節連続以上優勝

優勝機の優勝率が高いのであれば連続優勝の確率も高くなると思いますが、96年7月以降、同一モーターの連続優勝の最長記録は4連続(三寫誠司↓林美恵↓横西奏恵↓森秋光)。07年の浜名湖1件だけで今も変わっていません。

2位タイは3連続で38件。そのうち1件が現在継続中の宮島28号機(7月末時点)です(表2)。宮島は8月以降に3〜8日と15〜20日のお盆開催と27〜1日の企業杯の開催があり、28号機が出てきて記録が止まるか、まさかの4節連続優勝達成、どちらかになっていると思います。

以前、私は同一モーター連続優勝は何故か3で止まってしまう謎！とよく書いていましたが、前回優勝機の優勝率3・46%ですから、ほぼ確率通りだったのですね(笑)。

ちなみにこの表2で今も使用されているモーターは、津72号機と宮島28号機だけです。

今回、23年7月〜24年7月で5件出ていてこれは珍しいと思ったのですが、16年9月〜17年7月は11か月で6件の3連続優勝が出ていました。そういえばグラフ2の17年あたりもかなり高い優勝率でしたね。

逆に99年12月〜04年7月は同一モーター3連続優勝は0件ということもありました。となると、今は前回優勝機の優勝率は上がりつつあるのでしょうか？

表1●モーターの前回成績別の優出率・優勝率

| 記録 | 優勝率 | 優出率 |
|---------|-------|-------|
| 前回優勝 | 3.46% | 17.2% |
| 前回優出2着 | 3.03% | 16.2% |
| 前回優出3着 | 2.57% | 15.3% |
| 前回優出4着 | 2.79% | 15.3% |
| 前回優出5着 | 2.50% | 14.8% |
| 前回優出6着 | 2.57% | 14.5% |
| 前回優出失・欠 | 2.54% | 15.1% |
| 前回非優出 | 2.12% | 13.0% |
| 全平均 | 2.22% | 13.4% |

グラフ1●モーターの前回優出成績別の優勝率

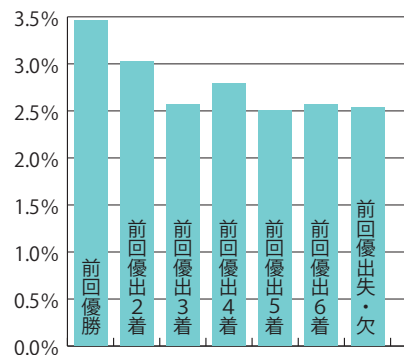


表2●96年7月以降、同一モーター4連続優勝と直近の3連続優勝

| 記録 | 場 | 機 | 期間 |
|-------|-----|------|--------------------|
| 4連続優勝 | 浜名湖 | 48号機 | 07.2.13浜～07.3.18浜 |
| 3連続優勝 | 宮島 | 28号機 | 24.6.25宮～(継続中) |
| 3連続優勝 | 津 | 72号機 | 24.3.13津～24.3.30津 |
| 3連続優勝 | びわこ | 69号機 | 24.1.8琵琶～24.1.30琵琶 |
| 3連続優勝 | 住之江 | 88号機 | 23.12.2住～24.1.7住 |
| 3連続優勝 | 平和島 | 16号機 | 23.7.21平～23.8.9平 |

表3-1●モーター連続優出

| 場 | 機 | 記録 | 期間 |
|-----|------|--------|-----------------|
| 宮島 | 11号機 | 10連続優出 | 16.10.9～17.1.20 |
| 大村 | 16号機 | 9連続優出 | 17.10.7～18.1.20 |
| 唐津 | 36号機 | 8連続優出 | 18.1.11～18.4.16 |
| 浜名湖 | 47号機 | 8連続優出 | 17.10.29～18.1.4 |
| 常滑 | 7号機 | 8連続優出 | 18.2.26～18.4.23 |
| 宮島 | 28号機 | 4連続優出中 | 24.6.14～(継続中) |
| 丸亀 | 20号機 | 4連続優出中 | 24.5.15～(継続中) |
| 唐津 | 21号機 | 4連続優出中 | 24.6.6～(継続中) |

表3-2●モーター連続記録

| 場 | 機 | 記録 | 期間 |
|----|------|------|-----------------|
| 丸亀 | 20号機 | 18連勝 | 10.4.20～10.5.1 |
| 芦屋 | 28号機 | 16連勝 | 13.7.20～13.8.13 |
| 蒲郡 | 30号機 | 16連勝 | 15.2.7～15.3.1 |

表3-3●モーター2連対連続記録

| 場 | 機 | 記録 | 期間 |
|-----|------|---------|-----------------|
| 丸亀 | 64号機 | 32連続2連対 | 21.5.20～21.7.8 |
| 唐津 | 41号機 | 27連続2連対 | 16.4.30～16.5.29 |
| 蒲郡 | 16号機 | 23連続2連対 | 97.1.8～97.2.9 |
| びわこ | 46号機 | 23連続2連対 | 21.7.22～21.8.23 |
| 唐津 | 37号機 | 23連続2連対 | 23.7.16～23.8.12 |

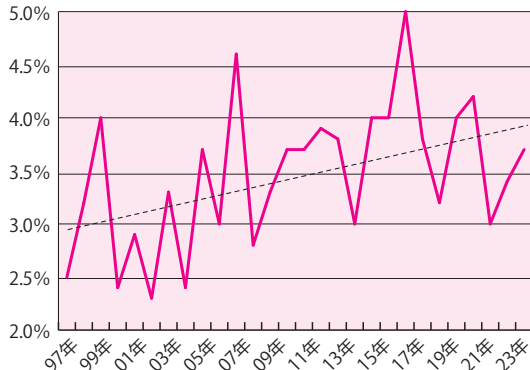
表3-4●モーター3連対連続記録

| 場 | 機 | 記録 | 期間 |
|----|------|---------|------------------|
| 丸亀 | 64号機 | 55連続3連対 | 21.5.20～21.8.19 |
| 下関 | 36号機 | 40連続3連対 | 21.8.20～21.10.30 |
| 蒲郡 | 16号機 | 39連続3連対 | 96.12.31～97.3.1 |

6位

| | | | |
|----|------|---------|---------------|
| 宮島 | 28号機 | 33連続3連対 | 24.6.12～(継続中) |
|----|------|---------|---------------|

グラフ2●年別のモーターの前回優勝機の優勝率



●モーター関連の記録
モーターの記録と言ってもそれぞれ使用が1年間で終わってしまう、はかなさがあるのですが、96年7月以降使用のモーターの記録を久しぶりにまとめておきます(表3)。

◎連続優出記録
連続優出は10が最長。宮島11号機は初おろしでいきなり優勝。2節目は優出でできませんでしたが、3節目から10連続優出を記録します。しかしその後の14節では1回しか優出できなくなり、最後の節は優勝します。そして見ていただきたいのは、この表の上位のほとんどが17年10月、18年4月に起きたこと。しかもすべて違う場で、一体何が起きているのだろうと思つた期間でした。グラフ2でも尖っている17年のあたりのことです。

現在継続中なのは、宮島28号機の他、2機が4連続優出中です。これが8まで行くと、過去28年間でもかなり上位になるといふことです。

◎連続記録
14年前の丸亀で平山智加選手の11連勝・完全優勝と秋山広一選手の7連勝で達成された18連勝が1位です。この記録を超えるには完全優勝を挟まなくてはならないでしょう。今では相当難しいと思われまふ。

◎2連対連続記録
1位は3年前の丸亀。こちらも伝説的なモーターと言えるのかもしれませんが、21年5月20日から2連対を外さなくなり、7月には毒島誠選手がGII全国BR甲子園で乗り優勝しました。予選4日目に3着になり記録は止まりました。

◎3連対連続記録
こちらも毒島選手がBR甲子園で優勝した64号機。途中3着があり2連対連続は止まっても「3連対連続記録は継続!」。次走の古結宏選手も次々走の越智照浩選手も節間オール3連対! 何と55走連続で3連対、舟券を外さないモーターとなりました。更新はほぼ不可能でしょう。というわけで、表3-2から表3-4の1位はすべて丸亀での記録となっています。

そして、現在継続中で6位の記録があります。それは宮島28号機! 6月宮島周年で乗った片岡雅裕選手の4日目から33走連続3連対となっています。宮島8月3、8日や15、20日では誰が引いて、記録は続いているのでしょうか。気になります。

●同じモーターに何度も乗るケース
以前乗ったことのあるモーターを再度引く選手が時々います。実は96年7月以降で1万件近くあります。

3回同じモーターに乗った選手は93件。そして4回は1件だけ。14年2月から大村で使用された15号機に樋口亮選手が4回乗りました。

そして今、その記録に並ぶかもしれない注目のモーター&選手がいます。それは児島の50号機を3回引いている藤原碧生選手。児島がこのモーターになってから藤原選手は7回児島を走っていますが、そのうち3回が50号機。ちなみに優出&優勝したのは36号機でした。藤原選手は8月17日からのお盆レースに出場します。ぜひモーター抽選結果にご注目ください!